

## 津波防災講演会の開催結果について

標記のことにつきまして、11月5日の「津波防災の日」、「世界津波の日」に関する取組の一環として、防災に係る理解・関心の向上と主体的な避難行動の定着促進のため、下記のとおり、東日本大震災時の体験談を語り継ぐとともに、安政南海地震津波の出来事をもとにした「稲むらの火」等を朗読する「津波防災講演会」を開催いたしました。

### 記

#### 1 主催

茨城県、水戸地方気象台、鉾田市

#### 2 日時

令和5年11月13日（月）13時30分から15時30分まで

#### 3 参加者数

60名

#### 4 場所

いこいの村涸沼 多目的ホール（茨城県鉾田市箕輪 3604）

#### 5 内容

##### 第一部 講演「津波からの避難と東日本大震災の記録」

茨城県防災・危機管理部防災・危機管理課 防災グループ 係長 鈴木 一敏

- ・県で作成した「津波避難チェックリスト」をもとに、津波から避難するために大事なことを説明したほか、東日本大震災時の写真や動画を上映した。

##### 第二部 震災体験の発表

日立市久慈学区コミュニティ推進会 会長 石川 善憲 氏

- ・石川氏は、震災当時、日立市立久慈中学校の校長として、避難所の運営に携わっており、当時の様子や子供たちの活動、さらに震災から得た教訓などについてお話いただいた。

##### 第三部 「つなみについて\*1」「稲むらの火\*2」の朗読

フリーアナウンサー 高信 佳子 氏

\*1 震災当時、岩手県の大槌小学校の5年生が書いた作文。

\*2 1854年の安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際に、収穫した稲の束（稲むら）に火をつけ、暗闇の中で逃げ遅れていた人たちを高台に避難させて命を救ったという逸話。

## 6 その他

- ・会場内で東日本大震災の記録展示を行いました。

※当日の写真は別添のとおり。

〈石川氏：震災体験発表の様子①〉



〈石川氏：震災体験発表の様子②〉



〈高信氏：「つなみについて」「稲むらの火」の朗読の様子〉



〈東日本大震災の記録展示の様子〉

